



**総務文教常任委員会**  
委員長 菊地清一郎

平成27年10月14日(水)から10月16日(金)までの3日間、神奈川県川崎市、埼玉県富士見市、埼玉県三郷市を選定し、先進地視察調査を行いました。

- **調査員**  
菊地清一郎・洞口 雅章  
吉野 英雄・原見 正信  
田中 秀幸・辻浦 義浩  
堀 博志・国本 一夫
- **帯同職員**  
山根 一志
- **随員職員**  
高橋 正人



埼玉県富士見市役所にて

◆ **10月14日(水)**  
▽ **訪問先**  
神奈川県川崎市  
川崎市市民ミュージアム

▽ **調査事項**  
「文化施設の管理運営」について

▽ **調査内容**  
川崎市市民ミュージアムは、「博物館」と「美術館」の複合施設であり、「都市と人間」という基本テーマを掲げ、企画展や映像の定期上映をはじめコンサートやパフォーマンス、講座やワークショップなど様々な事業を展開している。

平成26年には新たな3

年間の取組方針を策定し、年間総利用者数25万人という数値目標を掲げ、めざす姿の実現に向けた取り組みの推進を図っている。

◆ **10月15日(木)**  
▽ **訪問先**  
埼玉県富士見市

▽ **調査事項**  
「文化芸術振興に関する取り組み」について

▽ **調査内容**  
富士見市では、「富士見市文化芸術振興条例」の制定・施行、平成26年度には「文化芸術振興基本計画の策定」と文化芸術活動に取り組み施策の推進に努めている。

富士見市でなければ発信できないオリジナル文化事業を展開し、切れ目のない文化芸術振興策が図られている。

◆ **10月16日(金)**  
▽ **訪問先**  
埼玉県三郷市  
三郷市立前谷まへや小学校

▽ **調査事項**  
「日本一の読書のまち推進事業」について

▽ **調査内容**  
三郷市では、「日本一の読書のまち宣言」を行い、教育委員会・学校・図書館・家庭が一体となり、子どもたちに読書の楽しさや知る喜びを伝える取り組みが行われており、おはなし会やブックトーク、朝読や家読、子ども司書の養成、読書フェスティバルなどにより、読書活動を推進している。

**産業民生常任委員会**  
委員長 小久保重孝

平成27年10月20日(火)から10月23日(金)までの4日間、千葉県千葉市、千葉市川市、東京都中央区、東京都江戸川区を選定し、先進地視察調査を行いました。

- **調査員**  
小久保重孝・犬塚 貴敬  
渡辺 雅子・佐藤 匡則  
山田 勇・寺島 徹  
阿部 正明

● **帯同職員**  
黒川 弘司

● **随員職員**  
片平 道生

◆ **10月21日(水)**  
▽ **訪問先**  
千葉県千葉市  
スマートコミュニティ 稲毛

▽ **調査事項**  
「高齢者向け健康集合住宅」について

▽ **調査内容**  
スマートコミュニティ稲毛は、退職後の第二の人生を都市から地方へ移り住み、豊かなりタイヤ生活を集団でアクティブに楽しむ「新しい長生きのカタチ」を提唱したものである。

日本版CCRCとして話題になった高齢者向け健康集合住宅施設を訪問。施設利用者は約700名。隣接する分譲マンションに住み、大型複合商業施設だった建物を活用して毎日の食事や運動、余暇活動を楽しめる。富裕層向けではないとはいえ経済的条件的の高い施設だが、

リタイア後の人生を地方で過ごすのには何が必要かを考えさせられた。

▲10月21日(水)

☒訪問先

千葉県市川市

☒調査事項

「美しいまち並み協定」について

「ガーデニング・シティ・いちかわ」について

☒調査内容

ガーデニングを手段として市民と行政が連携して街づくりをする事を目的に、市長が提唱して始めた事業である。

建物の色合いを合わせたり、ゾーン別に統一感を誘導したり、街を住民自ら作り上げていく過程で新たな地域コミュニティの形成を目指すもので、景観の美化と共に一石二鳥的な効果が期待される取り組みである。

▲10月22日(木)

☒訪問先

東京都中央区

(株)全国商店街支援セ

☒調査事項

「商店街活性化策」について

☒調査内容

「E.G.A.O」とは、地域商店街活性化法の認定をめぐす商店街を支援するため、専門家(支援パートナー)を派遣して認定や活性化のサポート活動を行う事業である。

その内容は主にソフト事業(人材育成)の整備であり、商店街の現地に向いて、その街にあるものを活かした商品開発や、広告やちらし作りの工夫等のアドバイスを行った具体例を紹介いただくなどした。

▲10月22日(木)

☒訪問先

東京都江戸川区

上小岩小学校

すくすくスクール

☒調査事項

「すくすくスクール」について

☒調査内容

放課後や休業日に学校

校舎を利用して自由な活動ができるという事業である。

地域住民、教育委員会、第三者らで何度もミーティングを重ね校舎利用に関する制限等を明確に話し合い、学校とは関わりが無い別事業として運営する事とし、各校長の了承を得て事業をスタートした。

文部科学省、厚生労働省の省庁間の垣根や、さまざまな障害を江戸川区主導により乗り越えて子育て世代に対するサポートを実現している。



江戸川区上小岩小学校にて



平成27年度

無会派

行政視察報告

無会派

◎参加者

阿戸 孝之

◎期間

平成27年8月24日(月)

～26日(水)

◎調査場所・目的

★樹木葬について

近年、墓地の新しいあり方として注目を集めている樹木葬の形態と運営方法を調査し、伊達市内での活用を模索するもの。

◎千葉県袖ヶ浦市

「真光寺」

従来の墓石に代えて木

◎岩手県一関市「知勝院」

を植える樹木葬型を導入した。費用は、「森の苑」二人70万円(二人目以降は40万円)「桜の苑」は一人50万円となっている。



一関市「知勝院」にて

知勝院は、全国で初めて樹木葬を始めた寺院で、里山を従来の動植物の姿に戻すという思想から人間も里に返すというコンセプトで始めた。  
費用は、一人30万円となっている。

### 会派 創生・公明党

#### ◎参加者

《会派 創生》

国本 一夫・堀 博志

阿部 正明・篠原 一寿

《公明党》

原見 正信・渡辺 雅子

#### ◎期間

平成27年11月9日(月)

～11日(水)

#### ◎調査場所・目的

##### ○香川県高松市

#### ★「商店街の振興策」について

地方創生の成功事例として紹介された高松丸亀町商店街振興組合を訪問

し、その施策に至る背景や地権者の合意形成、国からの補助金制度活用など具体的振興策の説明を受ける。

##### ○徳島県徳島市

#### ★「農林産物のブランド育成方針」について

最近の農業を取り巻く状況は厳しく、産地間競争の問題や農業就業者の高齢化、担い手不足の問題、消費者ニーズの多様化など多くの課題を抱える。

これらに対応すべく徳島市では、JA徳島など関係機関との連携を図りながら、県が策定するブランド戦略を活用し、農林水産物の地域ブランド確立を目指している。

##### ○高知県高知市

#### ★「地域コミュニティ再構築」について

ほとんどの地方自治体は、少子高齢化や人口減少社会がもたらす諸問題に直面しており、担い手不



高知市役所にて

### 北海道市議会 道南支部議員研修会

10月8日に平成27年度北海道市議会議長会道南支部議員研修会が北斗市総合文化センター「かなでく」で行われました。

前日からの台風の影響で苫小牧市が欠席となった以外、登別、室蘭、北斗、函館、伊達の各市から議員が参加しました。

講演は、NPO法人自治体政策研究所理事長の森啓氏に「代表民主政治の活力」をテーマに

足や住民の社会参加意識の減少、人とのつながりの希薄化など大きな行政課題を抱えている。  
このことから、先進事例地として高知市を訪問し、「地域コミュニティの再構築」をテーマに研修を実施した。



平成27年度 北海道市議会議長会 道南支部 議員研修会

行っていたいただきました。議会の役割、市民から見た議員や議会についてなど、議員がどのように活動したらよいのかということについてお話をいただきました。

### 常任委員会 所管事務 調査報告

総務文教常任委員会 委員長 菊地清一郎

《11月17日(火)》

◆「社会教育施設の今後のあり方」について

市民研修センターの老朽化による今後の方針及び大滝国際ゲストハウスの今後の方針について説明を求め、調査を行いました。

◆「伊達市子ども読書活動推進計画(案)」について

国の「子どもの読書活動の推進に関する基本計画」及び北海道の「生きる力を育む北の読書プラン」を踏まえ、伊達市での計画の内容や、基本目標及び今後の予定等について説明を求め、調査を行いました。